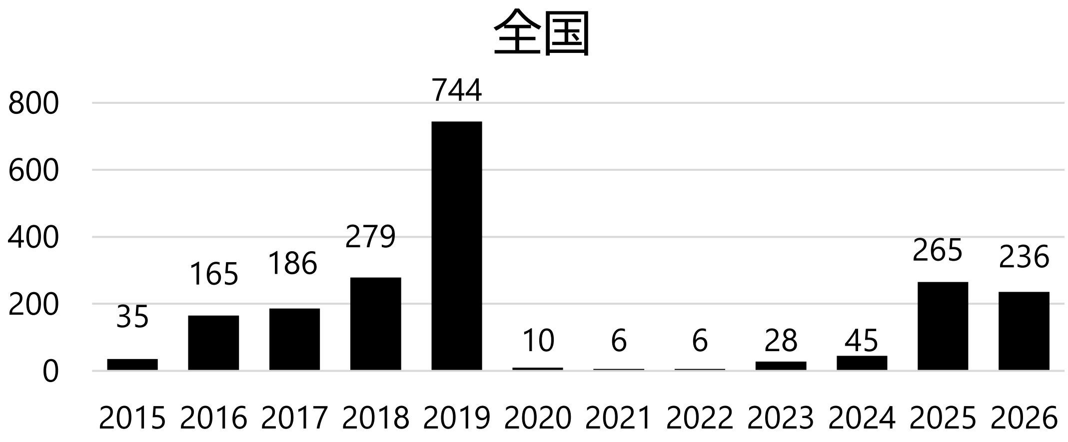
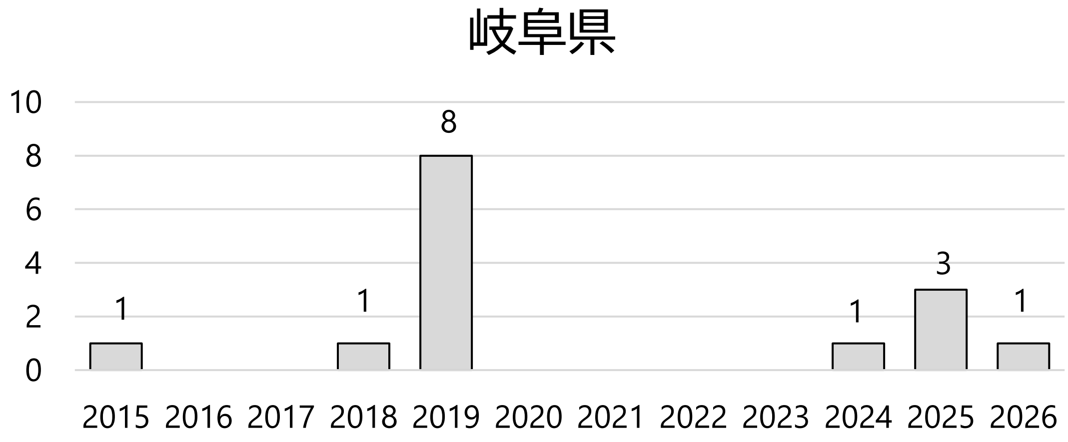
国内の麻しん発生状況

● 年別推移





※2026年は第14週（3/30～4/5）時点

● 岐阜県の麻しん患者（2024年～2026年3月末）

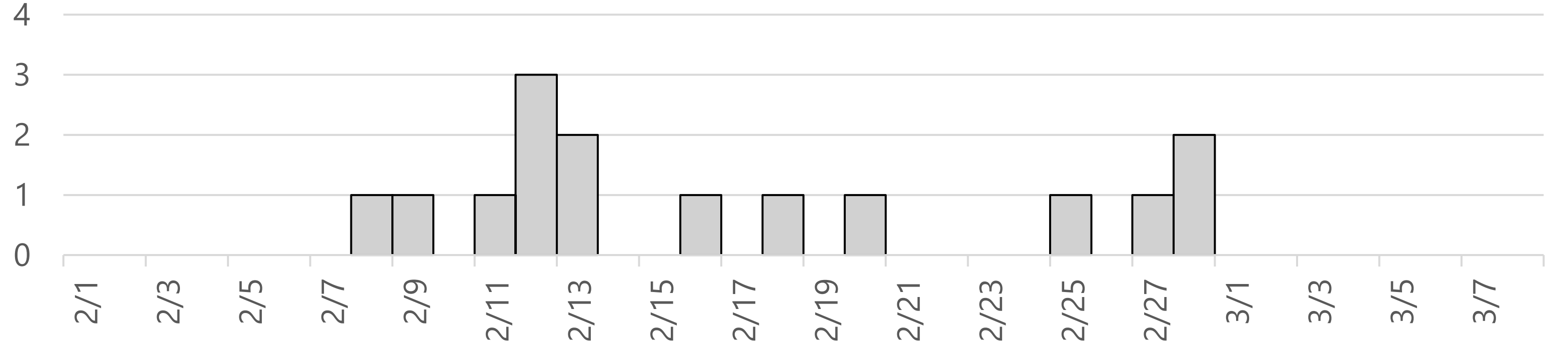
届出日	保健所	年代	性別	渡航歴	予防接種歴
2024.3.7	可茂	50代	女	あり（UAEからの航空機に麻しん患者が同乗）	不明
2025.3.5	西濃	30代	女	あり（ベトナム）	不明
2025.3.20	西濃	20代	女	なし	不明
2025.5.10	東濃	10歳未満	男	あり（ベトナム）	なし
2026.2.28	岐阜市	40代	男	あり（インドネシア）	不明

2026年　麻しん集団発生事例　(1)愛知県　県立高校

データ出典：
愛知県報道発表資料
豊橋市報道発表資料
愛知県衛生研究所　麻しん・風しん患者発生報告状況

- 愛知県東三河の県立高校で、生徒14人、教員1人、業者1人が麻しんを発症

発症日別患者数（n＝15、発症日不明の1例（2/20診断）を除く）



患者属性（n＝16）

		症例数	割合
年代	10歳代	14	88%
	40歳代	2	12%
海外渡航歴	あり	0	0%
	なし	15	94%
	不明	1	6%

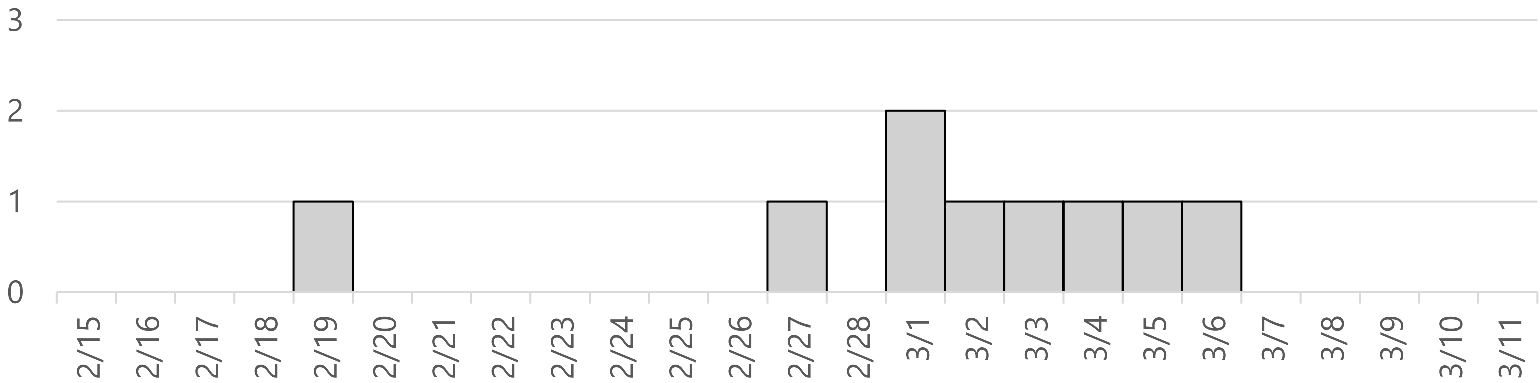
		症例数	割合
予防接種歴	2回あり	9	56%
	1回あり	4	25%
	なし	2	13%
	不明	1	6%

2026年　麻しん集団発生事例 （2）東京都 飲食店

データ出典：
東京都　麻しん（はしか）患者の集団発生について
（2026年3月17日）

- 東京都新宿区内の飲食店従業員9人が麻しんを発症

発症日別患者数（n＝9）



患者属性（n＝9）

		症例数	割合
年代	20歳代	9	100%
海外渡航歴	あり	0	0%
	なし	9	100%
	不明	1	6%

		症例数	割合
予防接種歴	2回あり	2	22%
	1回あり	0	0%
	なし	0	0%
	不明	7	78%

2026年　麻しん集団発生事例　（3）鹿児島市 高校

データ出典：
鹿児島市　麻しん（はしか）患者の集団発生（2026年3月25日）

- 3月2日に開催された鹿児島市内の高等学校卒業式の関係者13人が麻しんを発症
- 患者年代、発症日、予防接種歴等非公表

世界の状況

- 世界各地で麻しんのアウトブレイクが発生している
- WHO地域事務所により麻しんの排除認定を受けていた国の認定取り消しが相次いでいる

＜2025年以降に排除認定が取り消された国＞

2025年11月　カナダ

2026年1月　英国、スペイン、オーストリア、アルメニア、アゼルバイジャン、ウズベキスタン

※麻しん排除の定義：適切なサーベイランス制度の下、土着株による感染が1年以上確認されないこと

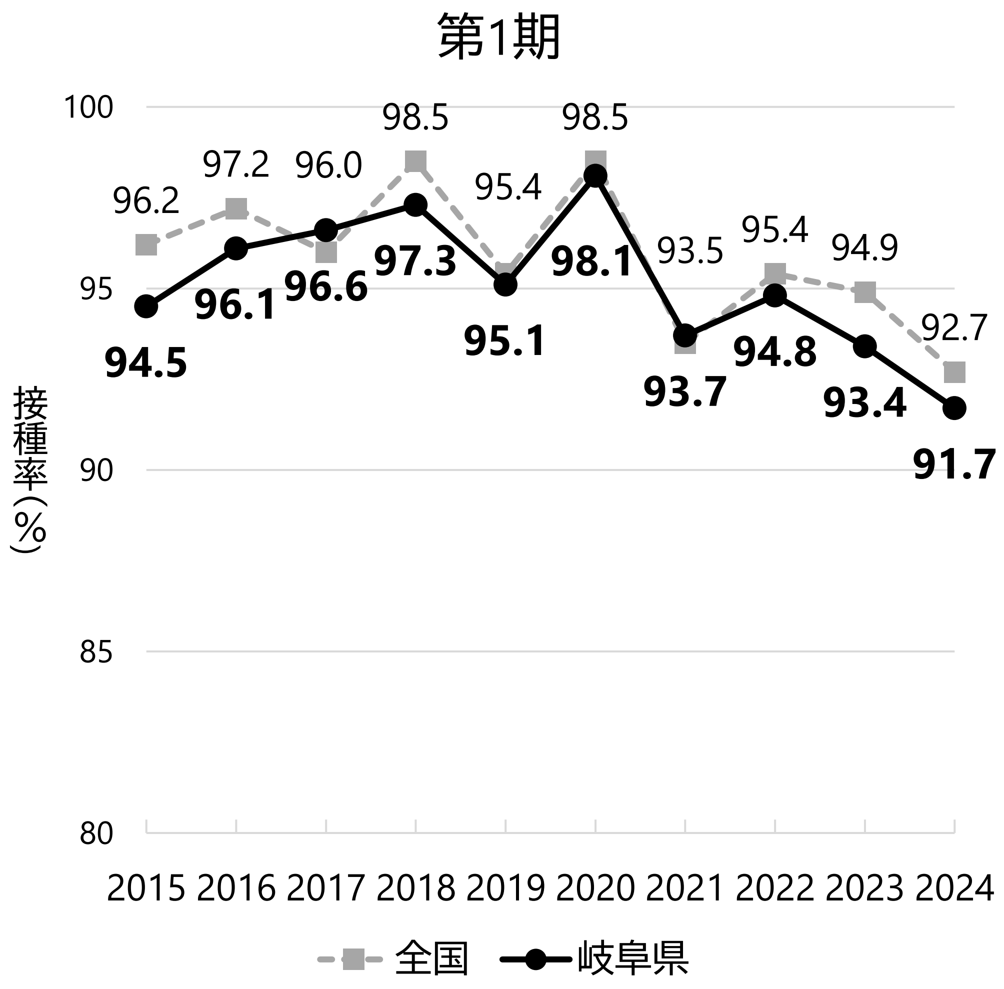
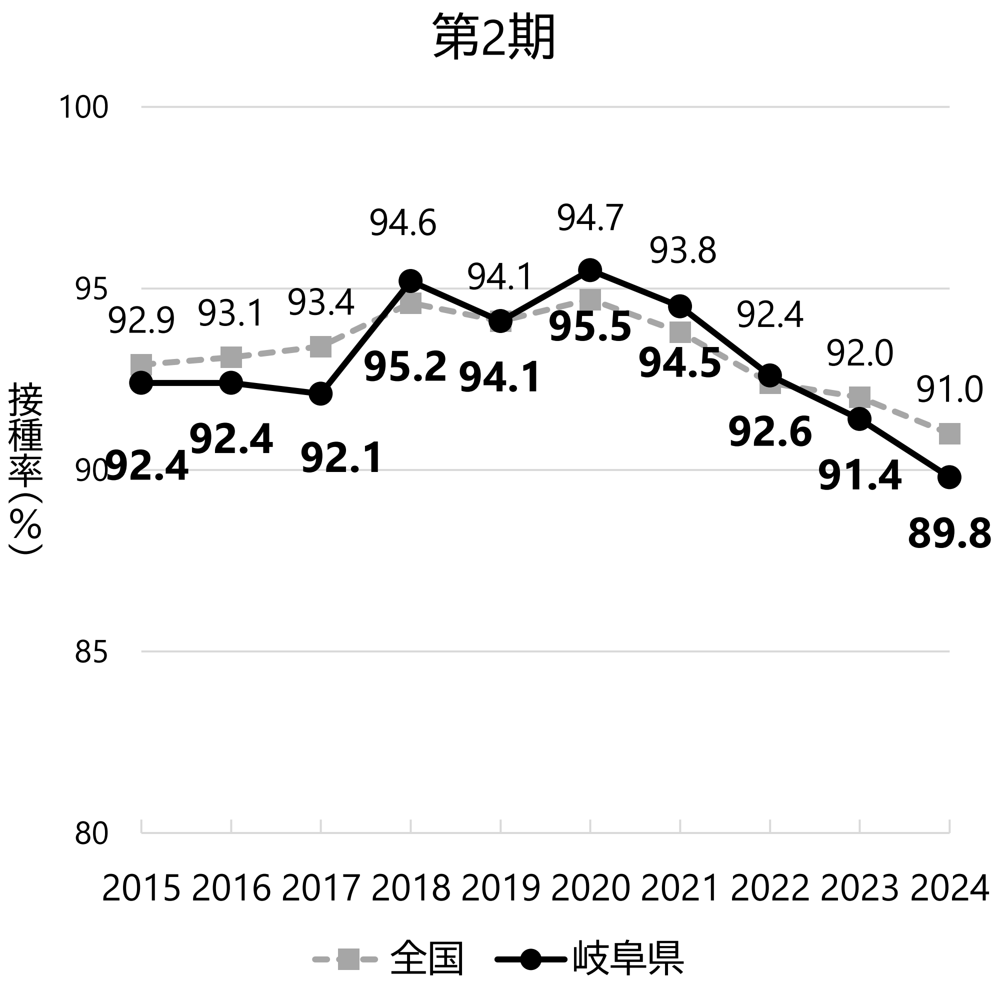
- COVID-19流行後、ワクチン接種率が低下している

カナダ： 2歳児における麻しん含有ワクチン接種率（少なくとも1回接種している割合）

2019年：90％ ⇒ 2022年・2023年：82％

英国： MMR1回目接種率　2019年：94.8％ ⇒ 2024年：92.3％

MMR2回目接種率　2019年：97.5％ ⇒ 2024年：84.4％

参考： WHO、PAHO、UK Health Security Agency、Canada

麻しんワクチン接種率推移（全国・岐阜県）